

アスペルガー障害 (高機能自閉症)の対応ver.3

新潟大学教育人間科学部
長澤正樹

広汎性発達障害(PDD)

1. 社会性の障害

- 視線が合わない、表情の認知ができない
- 他人の気持ちが理解できない

2. 行動の特異性(想像力の障害)

- 儀式的行動、常同的な反復行動、こだわり

3. コミュニケーションの特異性

- 一方的に話す、独り言、場にそぐわない発言

知的能力が高い

アスペルガー障害、高機能自閉症

アスペルガー障害のある子どもの様子

- **場の空気**が読めない(引いているのに気がつかない)
- **暗黙のルール**がわからない(順番に話す、など)
- 思ったことをすぐ口にする(「どうしてハゲてるの?」)
- 話が一方的である(自分の興味のある話だけ)
- 昆虫の名前、国旗などやたら**記憶力がいい**
- ひとりで遊んでいることが多い(一人遊び、マニアックな遊び?)
- 変化を嫌う(ものや行為への**こだわり**がある)
- 急に予定が変更になると**パニック**を起こす

能力の著しい偏り

対人関係、情緒の問題へ

対応の基本

Universal Design for Learning
自閉症グループ(PDD)にあった学習条件は、
すべての子どもにわかりやすい

PDDの特性

- 目に見えないものの理解が困難

他者理解、時間、見通し

- 自分を守る心のバリアが弱い

いじめ、からかいは厳禁

- 状況の理解が困難

自分勝手な変なやつ、と言われる

- 不安感が強い

居場所が必要

- 精神年齢が幼い

知的能力と行動とのアンバランス

アスペルガー障害への対応(1)

- 社会のルール、暗黙のルール理解の工夫
- ことばだけの説明より文章で説明
- 一対一で話をよく聞くこと

見えるように
教えること

視覚にうったえる

身振りを交える(ジェスチャー)
絵に描いて説明(絵カード)
文に書いて説明(ソーシャルストーリー)
スケジュール表、学習スケジュール表
認知行動療法、図による問題解決

学習スケジュール表

はじめに配布

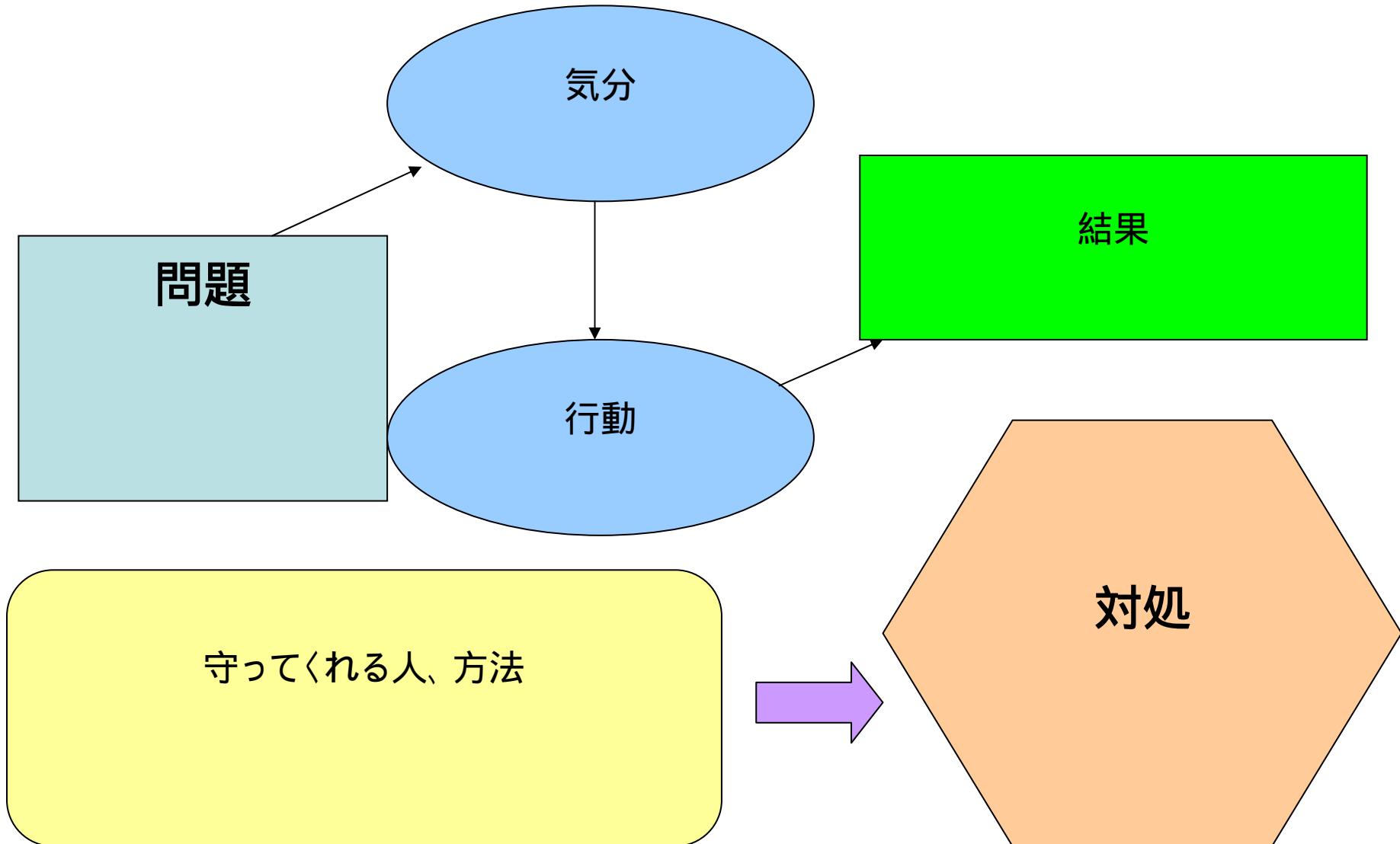
学習活動	学習内容	評価
1.音読	・教科書を音読する (ひらがなシートの使用)	
2.読みとり	・ノートに主人公のせりふを書く (主人公のせりふに印を付ける)	うまく行くための の手がかり
3.漢字の書 取り	・教科書 頁の漢字をノートに 書く 10:20までに終わること	時間管理の 意識

約束:手をあげてから発言しましょう

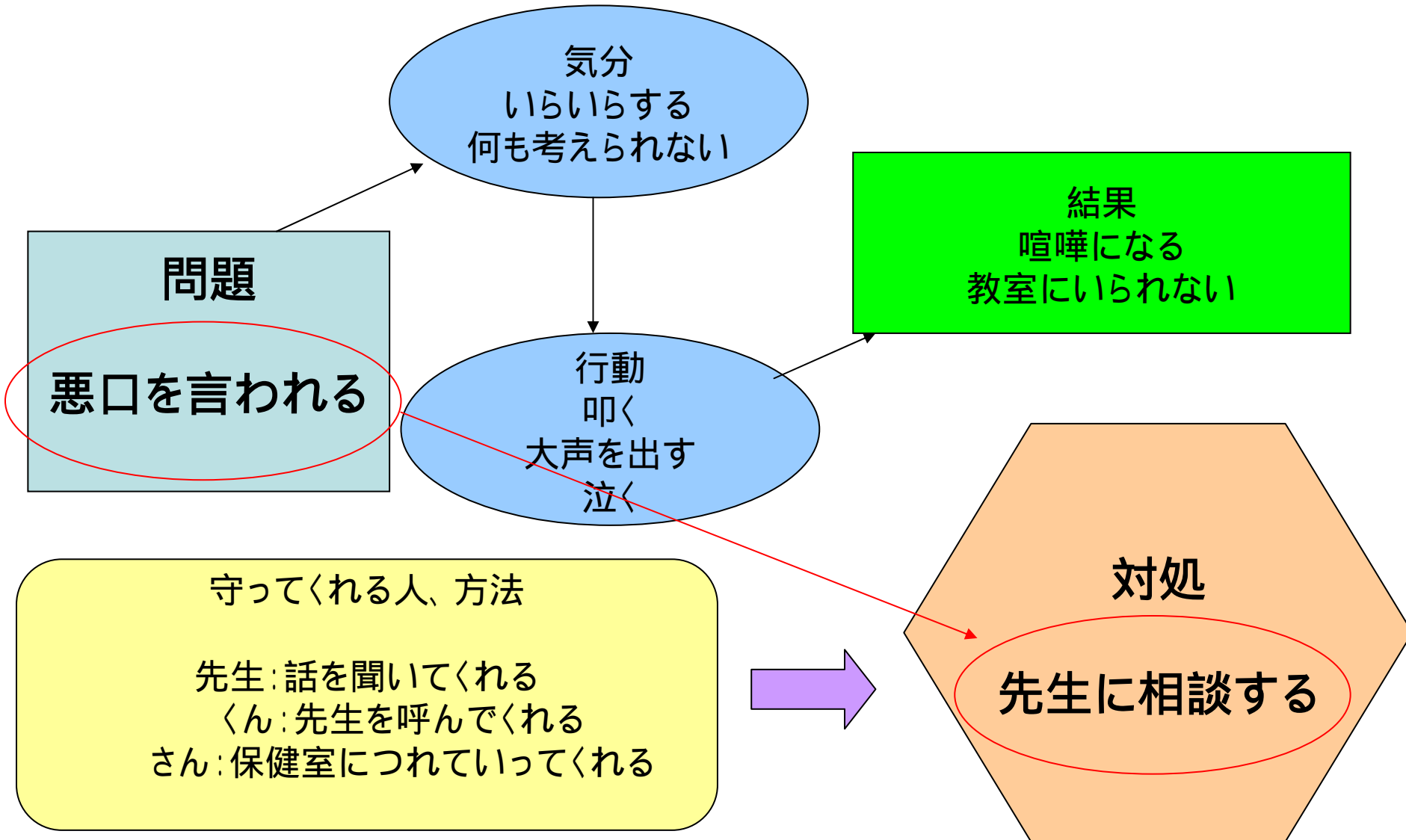
ルールの理解：文章で教える（ソーシャルストーリー）

- 私は 中学校 年 組の です。毎日元気に登校して、勉強しています。一番好きな教科は 、苦手な教科は です。勉強は難しいときもあるけれど、私はこの中学校が好きです。
- しかし、今日イヤなことがありました。携帯電話を学校に持っていったところ、先生に見つかり、叱られました。その理由を考えてみたいと思います。
- 携帯電話は大変便利な道具です。たとえば、 できます。 できます。とても便利だと思いますし、私にとって必要なものです。
- しかし、携帯電話を中学校に持ってくると、都合が悪いことがあります。まず、学校の規則では携帯電話を持ってくることが認められていません。携帯電話をみんなが持ってくると、授業に身が入らず、勉強が遅れます。また、持っていない人がうらやましがって、盗ってしまうかもしれません。
- ですから、中学校に携帯電話を持って来ないこと、家庭で使うこと、休日には持って行ってもいいことを守りたいと思います。これは社会のルールであり、中学校のルールです。私は社会のルールを守れますし、中学生なので中学校のルールも守れます。
- 社会や中学校のルールを守り、楽しい中学生を送りたいと思います。

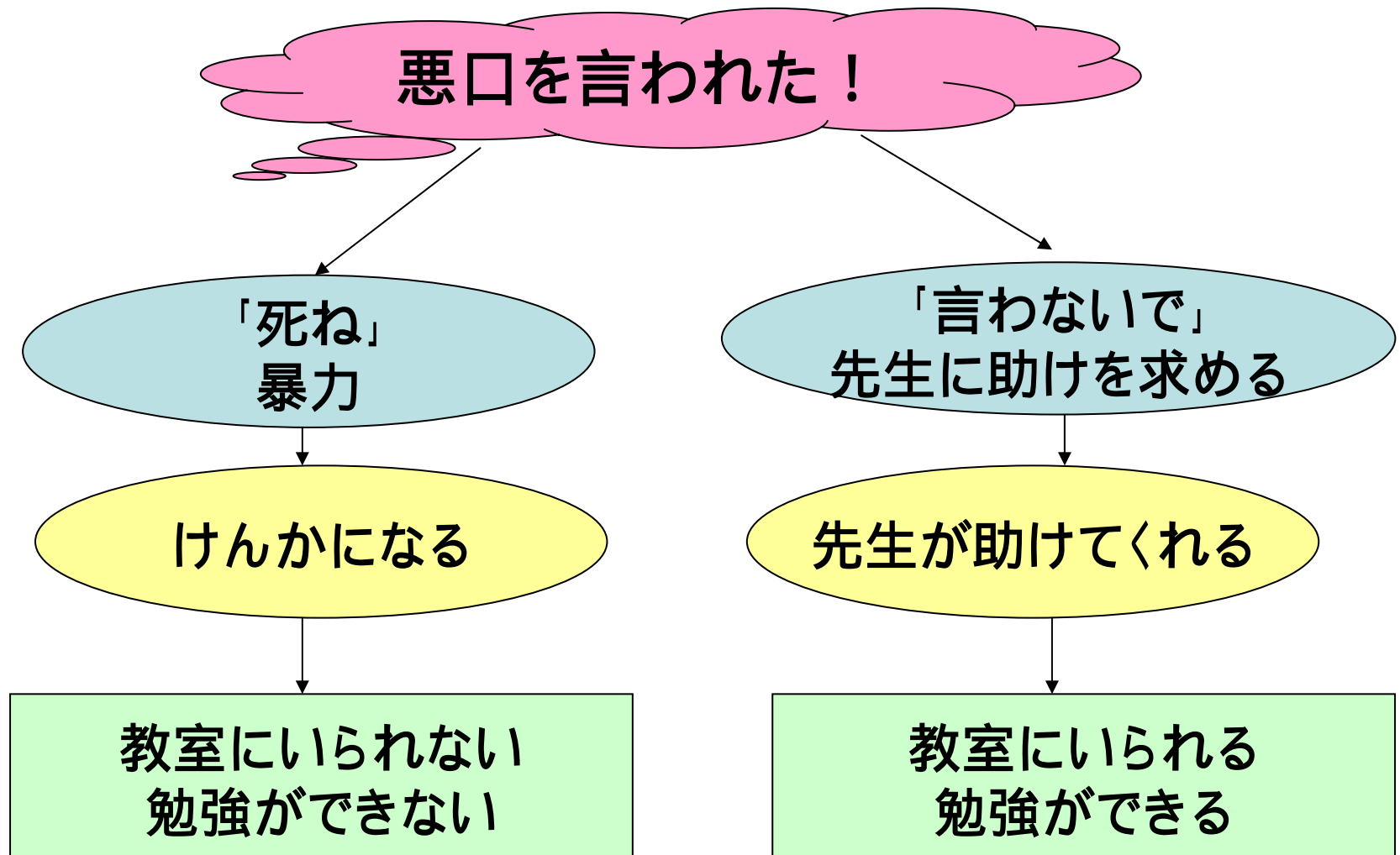
解決方法を視覚化する(認知行動療法)



解決方法を視覚化する(認知行動療法)



「どうすればいい？」 (図による問題解決を支援する)



対応(2): 具体的な約束を

- 「だいたい」が理解できない
- 「臨機応変」に対応できない

遅れないように来なさい

8:30分までに教室にはいること

いらぬものは持ってこない

ハンカチ、ちり紙、
お弁当だけ持ってきてなさい

「もしも担任が休んだときは、

先生にお願いしなさい」

アスペルガー障害への対応(3)

× 最後までがんばりなさい
全部運びましょう！

- わかりやすい指示
- わかりやすい表現：指示は一つ
- **話ができる**ことと、**理解する**ことは別
- 「表現形式」と「意味」とを区別する

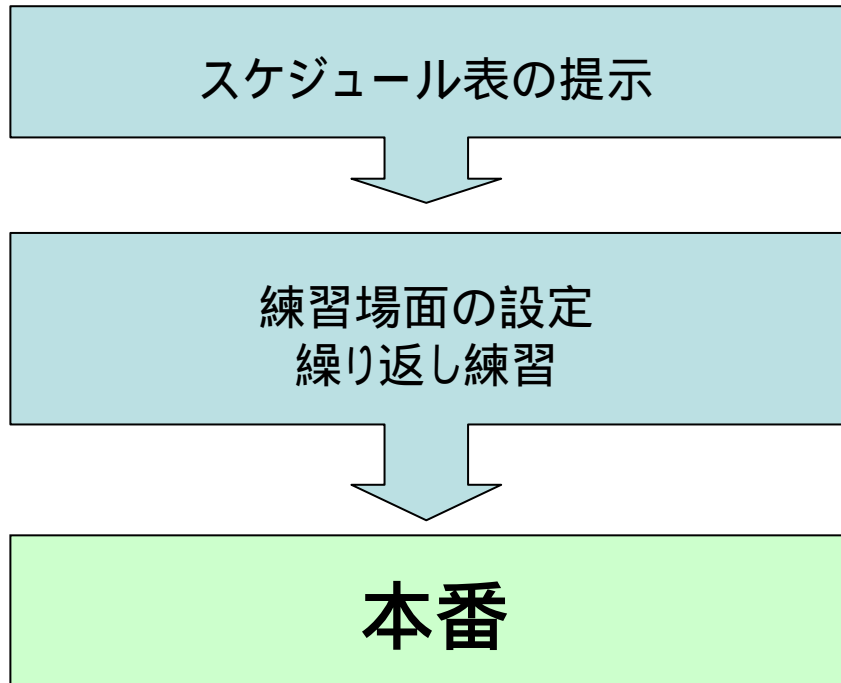
「死ね！」
(表現形式)

「相手が嫌い、とてもいやなことをされた」
(意味)

気持ちをわかってあげること
大げさに反応しないこと
適切な言い方を教えること

対応(4):事前の練習

- 新たな活動の前に事前練習を取り入れる



(例)

行事
面接・試験
買い物・旅行
訪問
入学前に

年齢別留意事項

	対応
乳幼児期	大人との信頼関係 基本的な生活習慣
小学校	集団適応 同年齢とのかかわり
中学校 高等学校	自分に関する客観的な認識 将来の目標、進路

やる気
成功体験
自己肯定感
社会的スキル

得意なことを生かすように

不登校への対応

問題解決のための指導モデル(COMPAS)

Collaboration Model with Teachers and Parents for Support to Children
with Disabilities:

障害のある子どもと関わる教師や親への支援を目的とした協働モデル

不登校への対応(概念図)

チームアプローチ

教師、SC、保護者、相談機関、専門機関、塾(?)

客観的な評価・個別の指導計画

自己決定支援

自己解決
自己主張
自己評価
SST

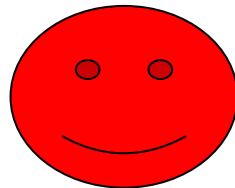
障害特性への配慮

保護者による対応
健全な日常生活

学校による対応
学習の保障
心理的なケア

将来の目標

自己肯定感を育てる



不登校生徒への活用



スモールステップ

できることはからはじめ、できたことを評価する。
目標のステップアップを

通常学級へ

適応教室 + 移動教室での学習

適応教室での学習

保健室登校

放課後、登校

近くの図書館で学習

リハーサル、自己記録・評価(PDS)

目標設定 実行 自己評価

- Plan、Do、Seeサイクルを教える
- 目標をきめる
- 目標達成のための手だてを考える
- 自己評価 + 他者評価
- 他者のコメントを次に生かす

目標を明確に！

失敗しない方略を！

チェックリストの活用

できたことを誉めて意欲を高める

自己肯定感を育てる

学校の対応

- 学習の機会、学力の保障

可能性の強調(君ならできる)、支援の具体的内容の提示

- 心理的なケア(SC、教師)

カウンセリング、SST、自己決定の指導

- 同級生による支援

同じ趣味、特性を持つ生徒との交流

- 支援計画の作成

問題解決の見通しを具体的に示す

いずれにしても、自己選択を保障すること

保護者の対応

- 自然な関係作り

自然な会話、余計なプレッシャーをかけない

- 健全な日常生活

健全なリズム、家庭の仕事、余暇(親子のふれあい)

- 両親による役割分担

父:目標と見通しを示す、母:相談相手。夫婦の協働作業

- 学校との連携

定期的な情報交換、支援計画の作成と共有
学校と保護者との協働作業

将来の目標

- 趣味や特技、関心のあることを聞く

子どもの話に関心を持つ。話をふくらませる

- 将来の夢、進学希望、職業などを聞く

考えられる結果の提示。具体的に示せなくても良い

- 将来の夢への見通しを提示する

夢の実現に向けての道筋を具体的に示す

- 目標への意欲を高める

今から取り組んでも遅くないことを強調
できそうなことを見つけて、一步踏み出すことを促す

1000ポイント:ゲームソフト
500ポイント:ファーストフード店での食事
100ポイント:カード10パック
20ポイント:ゲーム1時間追加
10ポイント:テレビ2時間、ゲーム1時間

約束

登校した:5ポイント
適応教室で1時間学習:1ポイント
(1時間ごとに1ポイント追加)
通常学級で30分学習:2ポイント
行事への参加:3ポイント

無理なく登校できると
普通の生活が保障される

約束を具体的に

トークンを活用した登校支援

事例

- 高機能PDD(中1男子)
- きっかけ:ちょっとした失敗を指摘され不登校
- その後:ゲームに没頭。親は振り回されてあきらめモード
- 対応
- 結果とその後

SCによる両親への対応:将来の見通し
トークンシステムによる日常生活管理
親の毅然とした対応
できた成果をこまめに評価

トークンシステムを守り登校へ
得意な活動や教科で自信がつく
親の認識の変化

まとめ

- 不登校などの問題は包括的なアプローチを

ひとりで抱え込まない
複数のメンバーがチームで対応。指導モデルに従う

- 目先の問題より将来の目標

現状の認識と解決への意欲

- アスペルガーの特性のよりいっそうの理解

アスペルガーは「宇宙人」？
学習のユニバーサルデザイン化を図ること
対応「知っている」から「している」へ